

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	蚕飼姫プロジェクト.
事業主体 (連絡先)	蚕飼姫プロジェクト 上田市常田 2-27-17
事業区分	その他地域の特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,064,390 円 (うち支援金： 672,000 円)

事業内容

かつて蚕種の製造や養蚕で栄え、蚕都と呼ばれる上田市には、国の伝統的工芸品にも指定されている信州紬の主力商品である『上田紬』があります。

しかし、原材料である絹糸の調達が年々難しくなっていることから、安定して『上田紬』を生産するためには、地元である上田地方での養蚕を復活させる事が必要であると考えました。

そこで、養蚕に関する知識と技術を持った人材を育成し、養蚕農家の復活を目指します。

また、養蚕から上田紬の製作までを結びつけ、体験を通じた滞在型観光の方法を検討し、産業の振興と創出を促すことにより、地域経済の発展を目指します。



【 給桑 】

【目標・ねらい】

- ①上田地域での養蚕業の復活
- ②蚕に関する知識を持った人材の育成
- ③体験を通じた滞在型観光の確立
- ④上田紬の高ブランド化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

市民のみなさまに養蚕ボランティアとしてご参加ただいて春と秋に養蚕を行い、生繭で102kgを収穫しました。この繭を生糸にし、上田紬を製造する3工房が着物やストールなどの製品に加工しました。

今まで学んだ生糸や真綿づくりを教えあったり、小学校で蚕を飼い繭から糸をつくって織物にするまでを教えたりと、養蚕と関連する技術を広めています。

また、東京都と名古屋で養蜂を行っている団体との交流も始まり、活動の領域も広がっています。7

※自己評価 【 B 】

【理由】養蚕・勉強会事業を行い、知識と技術の伝承はできたが、養蚕農家の復活までには至らなかったから。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

養蚕、勉強会事業を継続し、知識と技術を持った人材の育成を行い、養蚕農家の復活を目指します。 そのために、家庭で養蚕ができるキットを通じ、養蚕に関わる人材の底辺拡大を図ります。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある